

和歌山県 気候変動適応センターについて



2050年
カーボンニュートラルわかやま

県のPRキャラクター「きいちゃん」

和歌山県 脱炭素政策課 中尾

和歌山県の概況①

- ・人口: 884,627人 (R6.5現在)
- ・面積: 東西に約94Km、南北に約106Km
総面積約4,725km²
- ・気候: 県北部(和歌山市など)は、瀬戸内海式気候に属し、年間を通じて天気や湿度が安定し、降水量は少ない。
県南部は、太平洋岸式気候に属し、黒潮の影響を受け温暖で、台風の影響を受けやすく降水量の多い地域がある。



和歌山県の大きさ
東西に 約 94km
南北に 約 106km
総面積 約 4,725 km²



和歌山県は、海と山と川の自然資源に恵まれているよ！面積の全国順位は、47都道府県中、30番目だよ。

和歌山県の概況②

・農業

みかん収穫量全国1位(令和4年度産作物統計)

うめ収穫量全国1位(令和4年度産作物統計)

かき収穫量全国1位(令和4年度産作物統計)

はっさく収穫量全国1位(令和2年度産果樹生産動態等調査)

☆セミノール、山椒、いちじく、じゃばら、グリーンピースも全国1位の収穫量！

☆もも、キウイフルーツなどたくさんの作物が全国上位の収穫量を占めています！



写真:和歌山県ホームページ



写真:和歌山県ホームページ



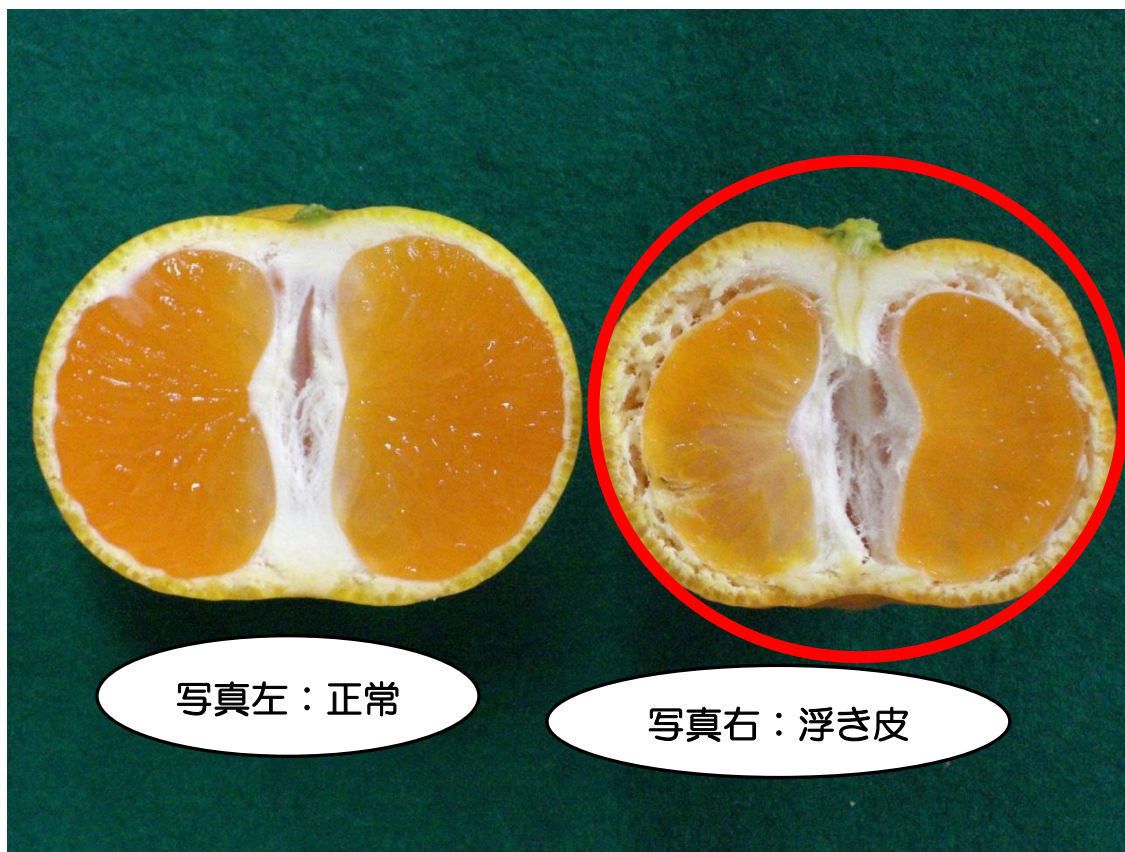
じゃばら

写真:和歌山県ホームページ



2050年
カーボンニュートラルわかやま

県内での地球温暖化の影響①



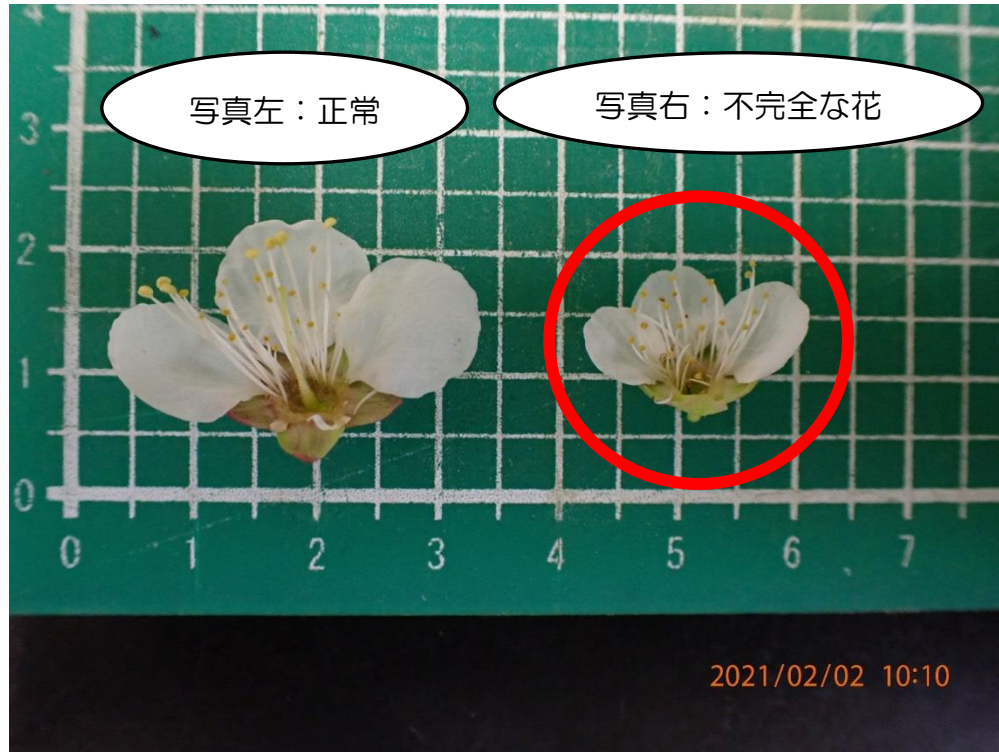
提供：和歌山県果樹試験場

みかんの浮き皮



2050年
カーボンニュートラルわかやま

県内での地球温暖化の影響②



提供：和歌山県果樹試験場うめ研究所

ウメの不完全な花は、冬の暖かさが原因の1つとされています。

(和歌山県果樹試験場うめ研究所わかやま果試ニュース
NO.28 2021年7月)



2050年
カーボンニュートラルわかやま

和歌山県気候変動適応センターについて①

- ・設置: 令和6年3月1日
- ・設置場所: 県庁脱炭素政策課(令和6年4月1日に課名変更)
- ・センター長: 脱炭素政策課長
- ・センター職員: 脱炭素政策課の職員のうち、気候変動適応に関する業務を行う者



和歌山県気候変動適応センターについて②

・業務 「和歌山県気候変動適応センター設置要綱」より抜粋

- (1) 気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集及び整理
- (2) 県内における気候変動適応事例の収集
- (3) 県内の関係部局並びに他の研究機関との連携体制の強化及び情報共有
- (4) 県民及び県内事業者に対する気候変動影響及び気候変動適応に係る情報の提供
- (5) 地域適応計画策定や適応推進のための技術的支援
- (6) 前号に掲げるもののほか、本県における気候変動適応を推進するために必要な業務



2050年
カーボンニュートラルわかやま

和歌山県気候変動適応センターについて③

今後の活動予定

- ・県庁内各関連部署との連携（会議等で情報の共有）
- ・県民への啓発

☆気候変動適応関連のホームページの整理、作成

→和歌山県公式ホームページにセンターのサイトを作成、今後情報を増やしていく予定。

[和歌山県気候変動適応センター | 和歌山県 \(wakayama.lg.jp\)](http://wakayama.lg.jp)

☆県広報誌「県民の友」へ関連情報の掲載

☆地球温暖化防止活動推進員への情報提供

